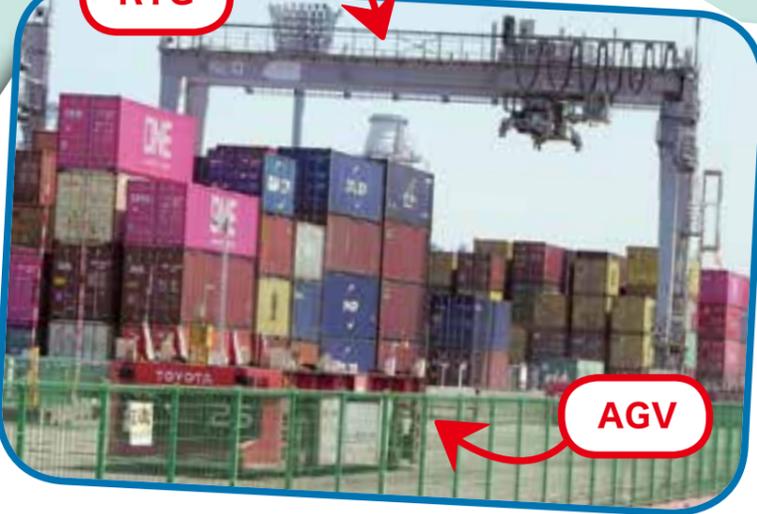


RTG



AGV



クレーンゲームみたい？

AGVとRTG

是か非か？

自動化進む 飛島ターミナルなど 視察

看買場、検数人・検量人はどこに？



全港湾第52期中央労働講座を、愛知県シーパレスにおいて、5月7日から9日の日程で開催、34名が受講した。講座の2日目には、AGV（自動搬送台車）やRTG（ラバータイヤ式ガントリークレーン）などの自動システムを既に導入している名古屋港の飛島埠頭コンテナターミナルを視察、飛島埠頭集中管理ゲートや鍋田埠頭コンテナターミナルなども視察した。全港湾は、自動化は雇用と職域を奪う合理化の面が強いことから反対の立場だが、参加者からは、自動化が想像以上のスピードで広がっている現実を目の当たりにして驚きが隠せない様子であった。

仕事量は2人分？
賃金は半人分？



TCB（飛島埠頭コンテナターミナル）でのAGV（自動搬送台車）とRTG（ラバータイヤ式ガントリークレーン）のシステム。オペレータールームから画面を見ながら遠隔操作する姿は、まるでクレーンゲームをしているかのように見える。見学者からはスゲ〜という驚きの声とともに、本当にこれで現場に人がいなくて大丈夫なのか？このシステムの費用はいくらかかっているのか？といった疑問の声がきかれた。

人が誰もいない…



渋滞してない…
飛島埠頭集中管理ゲート

飛島埠頭集中管理ゲート。飛島埠頭内にある4つのコンテナターミナルのゲートを1箇所に集中させた施設。ゲートは搬入・搬出合わせて22ゲートあり、搬入は1台あたり約3分、搬出は1台あたり約2分で処理できるという。現在、1日あたり2000台のトレーラーが利用しているとのこと。最大で3000台くらいまでであれば渋滞無く処理できるという。見学当日も渋滞は全くなかった。渋滞無く処理できる理由は、携帯端末とパソコンでの情報処理で、集中ゲート通過後に各ターミナルにトレーラーが移動するまでの間に蔵置場所を決定するので、その分ゲート前で待機している必要がなく、渋滞緩和にもつながっているのだという。



全港湾の豪華！講師陣

各班の発表、お疲れ様でした。



真島委員長

鈴木副委員長

松谷特別中執
(交運協事務局次長)

飛島埠頭の案内にあたった
名古屋支部の藤井さん



A班・東京支部
河村さん

B班・四日市支部
齊藤さん

C班・神戸支部
吉村さん

D班・阪神支部
池口さん





第90回中之島メーデー



第90回中央メーデー会場にて



第27回横浜港メーデー



貢献できるかを考えるべき」と呼びかけていた。横浜港メーデーは、最後にメインスローガン「港で働く者の団結で、希望が持てる職場・賃金・労働環境をつくろう」やメーデー宣言を採択、集会後、横浜市内のパレードに出発した。東京・代々木公園においては、第90回中央メーデーが開催され2万8000人が参加、「命守る、憲法いかす」「消費税10%は止められる」「残業なしで暮らせる賃金を」などをスローガンに東京支部からも52人が参加しデモ行進した。

5月1日、各地でメーデーが開催された。開港160周年を迎える横浜港においても、第27回横浜港メーデーが開催され、メーデー実行委員会を代表して東海実行委員長がメーデーの開催を祝した。また、会場には全国港湾の糸谷委員長をはじめ多くの来賓が出席した。例年であれば春闘が終わり一息ついてからのメーデー開催であったが、今年は春闘が終わらないどころか解決の目途さえついていないという異例の事態の中でのメーデー開催となった。全国港湾の糸谷委員長は「働き方改革と言われているが、政府は副業もすすめ更に働けとばかりに言っている。私たちはもう一度メーデーの原点に立ち返って8時間労働制のたたかいからやらなければならない」と原点に立ち返っての運動の取り組みを訴えかけた。そして、その上で「港湾においては労使の枠を超え『港湾人』として、港湾が市民にどう

祝 メーデー

8時間労働制の
原点に立ち返ろう

LOCAL
東京



長時間労働是正に向け 都議会にも要請

毎度おなじみになっている東京港の海コン長時間待機問題ですが、東京支部がかなり以前から取組みを行ってきました。平成30年度の取扱量は過去最高の458万TEUとなり、2026年頃までに610万TEUの取扱量にする第8次改定港湾計画の物流施策も発表されたところです。現状でも東京港で働く港湾労働者、海上コンテナドライバーの長時間労働、過重労働が常態化しています。抜本的な解決策がない状況で計画が進められれば労働環境がますます劣悪になりかねません。



東京支部はこれまでに東京都港湾局と交渉を行い、一時的な渋滞緩和措置ではありますが、海コン待機場の新設に加え、専用レーン及び待機場の修繕・修復などを行わせ、安全面を優先するよう当局に訴えかけ、要求実現をしております。また、2020年には東京五輪が開催され、東京港臨海地区には競技会場と選手村が16箇所設営され大渋滞が予想されています。五輪開催期間中の物流停滞問題も含め、東京都議会議員に要請し1月19日に都庁から4名の議員団を東京港に招き、滞留する海コンの実態を見学させ具体的な問題点を検証しました。一極集中型の取扱や様々な問題解決に向け、都議会本会議に反映できるよう協議をしているところです。(東京支部)

酷いときは
7時間待ちという事態も

地方を元気に
私は誰?

ブログ ツイッター フェイスブック